

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 3名回答、回答率100%  
保護者様： 26名回答、回答率83.8%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・建物の構造上、外階段など全てのバリアフリー化は難しいが、訓練室は緩衝材等を使用したり、療育具を最小限にして、利用者の導線を整備することで安全面に配慮している。
- ・個室内は机やロッカーにコーナーガードを設置するなど安全にご利用いただけるよう努めている。

### ○業務改善

- ・全職員が社内研修で学んだPDCAサイクルを活用し、日々の業務改善に努めることができている。
- ・社内の階層別研修を受講したり、児童対応などについて心理士や作業療法士から助言を求めたりして、支援の質の向上に繋げている。
- ・職員間で業務内容をローテーションすることにより、全職員が円滑に業務出来るよう努めている。

### ○適切な支援の提供

- ・業務前ミーティングにて、利用者の情報共有を行い、個別支援計画に沿ってプログラムを立案している。
- ・社内の心理職員に利用者支援に関する相談をしたりミーティングに参加してもらったりすることにより、職員の資質向上を図っている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・地域の自立支援協議会に積極的に参加し、他事業者や学校などの関係機関と情報共有を行っている。
- ・日々の支援内容や子どもの様子を保護者へフィードバックし、発達の状況や課題について共有している。また、必要に応じて保護者に対し日々の関わり方について助言を行っている。
- ・相談支援員と利用者の情報を共有しながら支援に繋げている。

### ○保護者への説明責任等

- ・保護者へフィードバックを行う際、必要に応じて家庭での関わり方についても助言を行っている。
- ・保護者会の実施ができていないので、オンラインでの保護者会実施やブログの更新など、来室が難しい保護者にも教室の様子を見ていただける機会を設けられるよう検討する。

### ○非常時等の対応

- ・虐待防止研修や身体拘束についての研修、性教育研修を行っている。
- ・非常時に備え、マニュアルを策定し月に1回避難訓練を行っている。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

・「子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか」「職員の配置数や専門性は適切であるか」については80%以上の方から「はい」と回答をいただき、「専門性がとても高いので、今後もたくさんアドバイスをいただくと有難いです。」などのご意見をいただきました。

## ○適切な支援の提供

・「子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか」「活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか」については90%以上の方から「はい」と回答をいただきました。

・「保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか」については「個別療育を希望しているため、必要性を感じていない。」とのご意見をいただきました。

## ○保護者への説明等

・「日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、共通理解できているか」については100%で「はい」と回答をいただきました。

・「保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか」「子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか」については90%以上の方から「はい」という回答をいただきました。

・「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか」については「わからない」との回答もあったため、来年度以降は感染症の状況を踏まえ、保護者会の開催を検討していく必要がある。

## ○非常時等の対応

・「各種マニュアルの策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した避難訓練が実施されているか」については「わからない」との回答を多くいただいたため、周知方法を検討していく必要がある。

## ○満足度

「事業所の支援に満足しているか」については95%以上の方から「はい」と回答をいただき、兄弟時のご利用やオンライン療育などのご希望もいただきました。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

- ・ 訓練室の構造化を見直し、より安全に過ごしていただくためのスペースを確保する。
- ・ インスタグラムやブログを活用して、教室での取り組みをより多くの方に知っていただけるようにする。
- ・ 避難訓練の実施方法や頻度を見直し、保護者へのフィードバックの際は具体的な内容を共有する。

## ○改善できた点・まだ残る課題

- ・ 訓練室内の構造化に力を入れ環境整備に取り組んできた。訓練室の柱にマットを設置したり、陽射しをさえぎり、防音効果のあるカーテンを設置したりするなど、訓練室の環境整備を行うことができた。
- ・ 活動内容について保護者にFBする内容の幅を広げることができたがブログの更新に至らなかった。
- ・ 多くの利用者へ様々な災害を想定して避難訓練を実施することができた。しかし保護者への周知は十分ではないため、各種マニュアルの内容も含めてお伝えする必要がある。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・利用者が落ち着いた環境でプログラムに集中できる環境を作ることができている。
- ・業務前ミーティングにて児童の様子を細かく共有し、チームワーク良く支援を行うことができている。
- ・子どもと保護者のニーズや課題に合った支援を提供し、職員間で子どもの変化を細かく分析しながら、プログラム内容が固定化されないよう工夫することができている。
- ・保護者に対し、支援内容や発達状況、課題について丁寧な説明を行い情報を共有することで、支援内容に好評価をいただいている。

### ○改善点

- ・非常時等の対応について、各種マニュアルの内容や月1回の避難訓練の実施も含めて保護者へ周知する必要がある。
- ・保護者会が実施できていないため、感染症対策やオンラインでの開催も検討し、開かれた事業所づくりを行っていく必要がある。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・感染症対策やオンラインでの保護者会の開催などを検討し、できるだけ多くの保護者の方に教室中の様子を知っていただける仕組み作りを行う。
- ・避難訓練の実施状況や取り組み内容、災害時の対応マニュアルをすべての利用者に周知、理解していただけるよう取り組み、より安心して通所していただける事業所づくりを行う。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・保護者会の開催スケジュールを決め、必要な備品やオンライン設備状況の準備、周知を行う。
- ・定期的なブログ作成を行い、教室の様子を発信していく。
- ・職員間で各種マニュアルの読み合わせと、フィードバック内容の検討を行う。保護者へ支援後のフィードバックをする際に、過去の避難訓練実施報告書や各種マニュアルを用いながら、災害時等の対応について説明する。

スマートキッズ